

平成 28 年度 自己評価結果公表シート

フレンド幼稚園

1. 本園の教育目標

のびのびいきいきした保育の中で、未来を担う、「心」・「知」・「体」を育成します。
 「心」友だちから相互に学びあい、友だちと幸せを共有できる心を育てます。
 「知」自分で考える知力を育成し、子どもの無限の可能性を芽吹かせます。
 「体」「心」「知」の基礎になる、元気に遊べる健康な体を育てます。

2. 本年度、重点的に取り組む目標・計画

教職員が評価項目に沿って、自己評価することによって、自ら客観的に自園を見る目を養い、施設の改善、教育内容の改善等に主体的に取り組んでいくことを重点項目とする。

3. 評価項目の達成及び取組状況

評価項目	取組状況
運営方針・教育目標の周知	園としての運営方針・教育目標を明確に示し、園として目指す教育、進むべき方向性を再確認することで教職員間の共通理解を深め、より良い教育活動を目指して取り組みました。
情報の発信・公開の充実	ホームページを一新し、掲載内容がより見やすく、充実したものにすると共に、園行事の様子や具体的な保育活動の様子などを保護者や地域の方に広く発信しながら、子どもたちが自主性をもって取り組んでいる様子もたくさん伝えていくように心掛け、本園の保育活動に対する理解を一層深めていただけるように努めました。
保護者への対応	スマートフォンやパソコンから簡単に欠席連絡・預かり保育の申込などができるシステムや通園バスが今どこを走行しているのかを地図上で確認ができるシステムの導入や電話による緊急連絡網を廃止し、メールによる一斉配信システムの導入を行いました。
地域の未就園児親子を対象とした育児支援と広報活動の活性化	未就園児と園の教職員と一緒に遊び、関わりを深めて育児支援を行えるような体制作りに努めると共に、イベント的な親子の遊びの場を設けて、親子間、幼児同士、保護者同士の交流が活発に行われるように努めました。また、園庭開放だけではなく、園舎内の一部の部屋を開放し、入園前の幼い子どもが安全に使いやすく楽しく快適に親子で遊べる室内遊び場の環境整備を行いました。新たな情報を提供する場合は、ホームページやチラシなど利用して情報を発信し、地域のたくさんの人に利用していただきました。

教職員の資質向上	外部研修のみならず、積極的に外部より専門講師を招き、園内研修も実施し、保育者の専門性を高める教職員のさらなる資質向上に努めました。
----------	---

4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

<p>取り組むべき課題について、教職員が共通に理解し、各自が適切に自己点検、自己評価を行うことで、自己の課題、園としての方針を明確にすることができた。また、今年度中に目標に達しなかったところ、不十分であったところについて反省を行うと共に、今後も幼児の成長発達のためよい援助ができるよう努力したいと考えている。</p>
--

5. 今後取り組むべき課題

課 題	具体的な取り組み方法
教育課程の見直し	平成30年度の教育要領改訂に伴い、教育課程の見直しを行う。
英語活動を通して、英語を楽しみ国際感覚を養う。	英語が抵抗なく受け入れられるよう楽しい環境づくりに努めながら、ネイティブの外国人と親しみ、外国の事柄に興味を持ったり、外国の人と自然に交流できる力を育てる。
新制度への移行の検討	園として安定した教育を推進していくため、今後の園としての在り方や今後どのような形態で保育を提供すべきか、また地域の多くの方のニーズに応えられるよう積極的に協議検討を行う。
働き方の改革	教職員内に働き方プロジェクトチームを結成し、定期的に会議を行い、専門家からの助言指導を受けながら、教職員の業務負担軽減のため、年間を通して業務内容の把握と見直しを行い、園業務のICT化、簡素化、効率化等も含めて検討すると共に逐次実行する。また、教職員一人ひとりの意向や考え方が十分に反映できる環境作りに努力すると共に職場環境の更なる改善、活性化を全教職員で考え実行する。

6. 財務状況

公認会計士監査により、適正な運営がされていると認められている。
